

9:30 ▶ 9:50
開会挨拶



フランク・コウジノウ
Frank Cousineau
米国がんコントロール協会(CCS)会長
録画映像(字幕付き)



もりやま あきつぐ
森山 晃嗣
NPO法人がんコントロール協会理事長

9:50 ▶ 10:50
おびつ りょういち
帯津 良一

今日もナイスエイジングの一日

医師・医学博士、帯津三敬病院名誉院長。(埼玉県川越市) 東京大学医学部卒。西洋医学に中国医学や代替療法を取り入れ、医療の東西融合という新機軸を基に、がん患者などの治療に当たる。人間をまるごと捉えるホリスティック医学の第一人者として、日本ホリスティック医学協会名誉会長、日本ホメオパシー医学会理事長なども務め、その実績は高く評価されている。主な著書に「いい場を創ろう」「粋な生き方」「人生を悦びに変える波動とエネルギーのレシピ(共著)」「がんを消す心の自然治癒力(共著)」他多数。

10:55 ▶ 11:55
録画映像(字幕付き)
ペドロ・セルバンテス
Pedro Cervantes

ゲルソン療法の栄養と解毒、およびその悪性黒色腫への効果

ヘルスインスティテュート・デ・ティファナ医長、M.D.1987年、グアダラハラ自治大学医学部卒(メキシコ)。1990～1992年、メキシコのサッカークラブチーム「アトラス・グアダラハラ」のスポーツドクターとして勤務。1992～2002年、実父で心臓血管手術と腹腔鏡専門医Dr.セルバンテス・オチョアの外科チームに参加。この間の2年間、ハリウッド映画「タイタニック」撮影現場の医師を務める。2000年、ゲルソン療法専門医の研修を積み、世界に2つあるゲルソン・インスティテュート認定医療施設の1つ、ヘルスインスティテュート・デ・ティファナに勤務。その後、現職の医長となる。経験豊富で思いやりのあるDr.セルバンテスは、患者や医療チームにとって必要不可欠な存在である。

11:55 ▶ 12:50
昼休憩
お弁当の販売をいたします

12:50 ▶ 14:00
たかだ じゅん
高田 純

八健伝と放射線 -和の生活にみる究極の健康と長寿の秘訣-

札幌医科大学名誉教授、理学博士(広島大学)。専門は医学物理、核放射線防護。現場主義でマーシャル諸島、シルクロード、福島など世界の核放射線災害地を調査。休日は遺跡や博物館、郷土資料館、山や湖、温泉をめぐる。縄文期以後の北海道の人口を推計、日本文明を研究。未踏科学技術協会高木賞、懸賞論文藤誠志賞など受賞。著書に「核爆発災害-そのとき何が起こるのか」、「福島-嘘と真実」、「人は放射線なしに生きられない」、「放射能・原発、これだけ知れば怖くない!」、「世界の放射線被曝地調査-日本人が知らされなかった真実」他多数。

14:05 ▶ 15:15
いのうえ まさやす
井上 正康

遺伝子ワクチンと免疫の意味論

医師・医学博士、大阪市立大学医学部名誉教授、1970年岡山大学医学部卒、1973年1月インド・ベルシャ湾航路(船医)、1974年3月岡山大学大学院医学研究科修了(医学博士)、1982年9月アルバートアインシュタイン医科大学客員准教授、1984年熊本大学医学部助教授(生化学)、1984年9月米国タフツ大学医学部客員教授(分子生理学)、1992年4月大阪市立大学大学院医学研究科教授、2013年健康科学所長、大人の学校(現代適塾)塾長、2019年FMTクリニック院長(～2020年)、2021年(株)キリン堂ホールディングス学術顧問、主な著書に「活性酸素と疾患&活性酸素と病態」「血管ほぐし健康法」「新型コロナが本当にこわくなくなる本(共著)」他多数。

15:15 ▶ 15:45
休憩

15:45 ▶ 16:55
あらい けいすけ
新井 圭輔

定説は真実とは限らない。専門医(標準治療医)が患者さんを救えないのには訳がある。医療は理論医学へと変貌を遂げる必要がある!

医師・あさひ内科クリニック院長(福島県郡山市)、京都大学医学部卒。昭和56年島根医科大学放射線科助手、昭和59年京都大学医学部付属病院核医学科医員、昭和62年より市立島田市民病院放射線科に勤務し、10年間がんの診断と診療に携わる。平成9年4月郡山市にてあさひ内科クリニックを開業。放射線ホルミシス、糖質制限による糖尿病・メタボ治療、糖質制限による健康長寿、更には糖質制限による癌治療にまで踏み込んで、その成果を確信しての登板です。著書に「糖尿病に勝たなければ、インスリンに頼るのをやめなさい」。

17:00 ▶ 18:10
こんの ひろゆき
今野 裕之

リコード法に基づいた統合的な認知症治療の実際

医師・医学博士、一般社団法人日本ブレインケア・認知症予防研究所代表理事・所長(東京・新宿区)。日本大学医学部、順天堂大学大学院医学研究科卒、リコード法(米国発のアルツハイマー病の統合治療プログラム)認定医、各種精神疾患や認知症の予防・治療に栄養療法やリコード法を取り入れ、一人ひとりの患者に合わせた診療に当たる。認知症予防医療の普及・啓発活動のため2018年に日本ブレインケア・認知症予防研究所を設立、代表理事就任。著書に「最新栄養医学でわかった!ボケない人の最強の食事術」「心と身体の疲れに効く最高の食事術(監修)」。

18:15 ▶ 19:00
もりやま あきつぐ
森山 晃嗣

気づきが必要! 統合療法 必須の時代

NPO法人がんコントロール協会理事長、米国がんコントロール協会(CCS)日本支部代表。食事療法によって病気を克服した体験をきっかけに、米国医大通信講座で正常分子栄養学の基礎を学び、その後30年以上にわたりロジャー・J・ウィリアムズ博士、アブラハム・ホフファー博士、ライナス・ポーリング博士らの生物学的医療の基本となる栄養について学ぶ。著書に「アメリカはなぜガンが減少したか」「がん難民119番-救済・治療先進国アメリカに学ぶ」「脳身快適」他。

19:00
閉会挨拶
森山 晃嗣 NPO 法人がんコントロール協会理事長

9:50 ▶ 10:00
開会挨拶



もりやま あきつぐ
森山 晃嗣
NPO法人がんコントロール協会理事長



たのい まさえ
田井 真愛

10:00 ▶ 11:10
たのい まさえ
田井 真愛

6(Six)スポット療法とその可能性

医師、帝京大学医学部卒。青山セントラルクリニック院長(東京武蔵小山)。卒業後、東京医科歯科大学耳鼻咽喉科に入局。その後埼玉県立がんセンター頭頸部外科、さやま総合クリニック耳鼻咽喉科、草加市立病院耳鼻咽喉科を経て、田井耳鼻咽喉科アレルギー科(千葉市花見川区)に勤めながら2012年、青山セントラルクリニックを開業。気楽になんでも相談できる「かかりつけ医」として一人ひとりの患者に向き合い、地域医療に貢献していくことがモットー。著書に「頭痛、肩こり、睡眠障害を改善する6スポット療法」。

11:15 ▶ 12:25
たかはし とく
高橋 徳

視床下部オキシトシンと新生活様式

医師・神戸大学、医学部卒。ウイスコンシン医科大学名誉教授、クリニック徳院長(名古屋市)兵庫医大第2外科研修医・助手、2000年～2007年米国デューク大学准教授・教授。2008年～2018年米国ウイスコンシン医科大学教授、2016年～統合医療クリニック徳院長就任。脳や胃腸の分野で、米国で最先端の研究を20年続けたドクター徳が行き着いた先の最良の医療が「統合医療」。統合医療は「東洋医学」と「西洋医学」の合体のみならず、「こころ」と「からだ」を同時にケアする医療でもあると考え、鍼治療も取り入れ日常の治療にあたっている。著書に「あなたが選ぶ統合医療」「薬もサプリも、もう要らない!-最強免疫力の愛情ホルモン「オキシトシン」は自分で増やせる!!」他。

12:25 ▶ 13:15
昼休憩
お弁当の販売をいたします

13:15 ▶ 14:25
しゅうとう ひろし
周東 寛

ミトコンドリアとその周辺

医師・医学博士、南越谷健身会クリニック院長(埼玉県)、台湾生まれで魯迅(作家)、周恩来元首相の遠戚にあたる。1978年昭和大学医学部卒業。卒業後昭和大学藤が丘病院内科レジデント2年間研修し、同呼吸器内科に入局。1986年に自分なりの医療モットーである「小さな藤が丘病院」を目指して、駅ビル医院「せんげん台」を開院、1990年に大袋医院を統合し、1990年医療法人健身会設立、翌年理事長に就任。2003年南越谷健身会クリニックを開院し、2008年院長に就任。医療啓蒙と健康促進のために「食事・運動療法、ストレス解消法」を推進し、ストレス解消法では「カラオケ療法」を提唱、健康とカラオケの効果を説く講演を随所で開催している。また、画家や書家として数多くの受賞経験を持つ。著書に「男性ホルモン補充療法-新ミトコンドリア実臨床」「ハイパーサーミア」他。

14:30 ▶ 15:40
しらかわ たるう
白川 太郎

なぜ抗がん剤ではStageIV患者を救えないのか?

医師・医学博士、京都大学医学部卒。京都大学胸部疾患研究所付属病院第一内科入局などを経て、呼吸専門の内科医として経験を積み、英国オックスフォード大学医学部呼吸器科講師も務める。遺伝子学、免疫学の研究者として世界的な学術誌「ネイチャー」「サイエンス」に多数の論文を発表。2000年京都大学大学院医学研究科教授に就任。2001年理化学研究所遺伝子多型研究センター、アレルギー体質関連遺伝子研究チームリーダー(非常勤)兼務などを経て、2008年長崎県に統合医療をメインとしたクリニックを開設し、院長に就任した経験を持つなど、精力的に活動中。著書に「私は万病でも水素で治します」「末期がんバイブル-ステージ4からのサバイバル・ガイド」他。

15:40 ▶ 16:10
休憩

16:10 ▶ 17:20
むねた てつお
宗田 哲男

1000日の食事が人生の鍵を握る -妊活から幼児期の新栄養学-

医師・宗田マタニティクリニック院長(千葉県市原市)。1965年北海道大学理学部入学、卒業後国際航業入社。その後医師を志し1973年帝京大学医学部入学、病院勤務を経て千葉の市原に宗田マタニティクリニック開院。妊娠糖尿病で苦しんでいる妊婦さんとそのお腹の子を救いたい!との思いから探求を重ね、胎児や赤ちゃんが糖質制限していることを発見し、日本の産婦人科界のデファクトスタンダードに反する糖質制限の食事法で多くの糖尿病妊婦を救っている。著書に「ケトン体が人類を救う-糖質制限でなぜ健康になるのか」「最強の油・MCTオイルで病気知らずの体になる!」「産科医が教える-赤ちゃんのための妊婦食」他。

17:25 ▶ 18:35
あきやま しんいちろう
秋山 真一郎

がん治療における必須の栄養サポート

医師・医学博士、カナダマギル大学臨床腫瘍学客員教授、札幌医科大学卒。宇宙開発事業団宇宙医学研究開発室医長、九段クリニック総院長兼免疫細胞療法センター所長を経て、2019年9月にNPO法人がんコントロール協会理事に就任。がん免疫治療と植物栄養素を中心とした免疫栄養療法など、副作用のない多角的療法で成果を上げている。著書に「最新の癌免疫細胞療法-リンパ球療法から樹状細胞ワクチンまで(共著)」。

18:35
閉会挨拶
森山 晃嗣 NPO 法人がんコントロール協会理事長